

建築物（学校等）耐震診断等概要表

（様式 - 2）

1. 建物概要														
申込件名	1. 耐震診断 2. 耐震補強計画 3. 総合判定 4. その他()													
設置者名/申込者名	/													
建物名、棟名(棟番号)	()													
所在地														
区分、面積、(診断面積)	校舎、屋体、寄宿、その他()、 m ² (m ²)													
建築年月、構造、階数	、													
基礎、地盤条件														
構造上の特徴	平面(ほぼ整形、不整形)、立面(ほぼ整形、不整形) 構造形式(極脆性柱(有、無)、下階壁抜(有、無)、平面柱抜(有、無)、Pca屋根(有、無)													
2. 診断方針・診断実施者														
診断法(計算法)	第2次診断、第3次診断、屋体診断基準、応答解析、その他(手計算、電算機)													
電算ソフト(バージョン)/作成者														
診断実施者(資格・受講番号)	(受講番号)													
連絡先住所・所属														
TEL/FAX														
診断実施年月														
材料調査：調査値(標準偏差)	コンクリート：調査値= ~ (~) 設計値(Fc)= 診断使用値= ~ (N/mm ²)													
設計値、診断使用値等	鉄筋： 設計値(y)= 診断使用値= (N/mm ²) 鉄骨： 設計値(y)= 診断使用値= (N/mm ²)													
3. 診断結果 (Is, C _{TU} ・S ₀ またはq・S _T を*欄に付記し、所見を記入)														
	補強前				補強後				(調査および診断に対する所見)目標値：					
	Isx	*	Isy	*	Isx	*	Isy	*						
5F														
4F														
3F														
2F														
1F														
最小値														
4. 補強計画 (補強方法別に各階の補強箇所数、合計数を記入、所見に判定、Is ₀ との関係、特殊工法の有無等を記入)														
	壁増設	壁補強	袖壁増設	袖壁補強	柱増設	柱補強	ブレース増設	ブレース補強	スリット	基礎補強	荷重軽減	その他()	(補強に関する所見)目標値：	
5F														
4F														
3F														
2F														
1F														
合計														
5. 付図 (補強前後の代表階の CT-F関係、主要CT値(RC造)、または q・St値(S造)を下図に記入)														
X方向 [階]					Y方向 [階]									
6. 事務局使用欄														
受付番号	島建事協耐震第	号	受付年月日	年	月	日								
交付番号	島建事協耐震第	号	交付年月日	年	月	日								